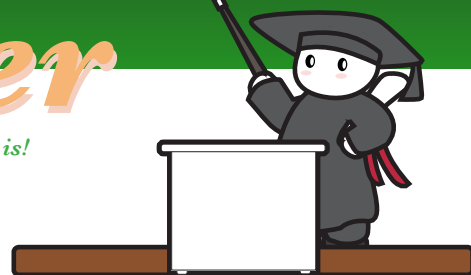




Newsletter

Professors, we are coming to tell you how useful WebCT is!

No.00



WebCT プレミアムプロジェクト

本学では2001年からWebCTが導入され、有志の先生方により様々な形で授業に活用されてきました。WebCTには

- ・ 授業資料提示機能
- ・ オンラインテストとレポート管理機能
- ・ コミュニケーション機能
- ・ 学習履歴と成績管理機能

などが含まれており、これらを自由に組みあわせて使えるようになってきました。この中で、これまでは主に授業資料提示機能を中心に利用されてきました。

しかし、課題や小テストなど他の機能は3～4割程度の授業でしか活用されておらず、まだまだ真価が発揮できていない状態です。

また、学士の学力品質保証、単位の実質化が声高に叫ばれるようになり、評価基準の明確化と根拠の管理、学習時間の確保が求められています。このような目的のためにも、WebCTを利用したレポートや学習履歴の管理機能を活用する場面が増えてくることでしょう。もちろん、授業の形態や内容によって、活用できる機能が限られる場合もあります。

一方、小テストの設定に手間がかかり実施できなかったり、学習履歴の読み方がわからなかったり、電子教材を作るノウハウがなかったりといった場合も少なくないと思われます。このような(先生方にとってあまり本質的でない)技術的な問題をできるだけ排除して、より高度な講義の情報化を進めていくためには、これまで以上に教員支援体制を充実させる必要があります。

また、講義情報を時間外にWeb上で提示する際には、著作権の問題に目をつむる事はできません。授業資料の著作権処理を支援する体制は、これまで本学に存在していませんでしたが、今後は必要になってきます。

教育室では、「WebCT プレミアムプロジェクト」として、2008年末よりコンテンツ作成支援室に2名の職員を新規配置し、WebCTを中心とする教員支援体制を強化しました。



秋元コーディネーター

原田支援員

このプロジェクトでは、2011年度までの3年間で次の4点を目標としています。

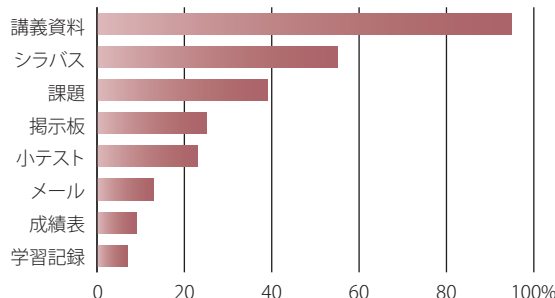


図1: WebCT100 (2005年度) 参加講義での、各ツールの利用率 (56講義中)

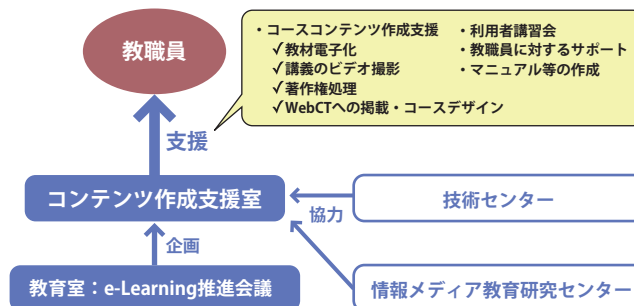


図2: コンテンツ作成支援室による教職員支援体制

1. 品質の高いコンテンツの作成を支援する
 2. 授業一回分をオンラインで実施するためのコンテンツの条件を検討し、実際に作成・実施を行う
 3. 著作権処理の方法と支援体制を実践しながら検討する
 4. これらを通じ、教員にeラーニングの有効性を認識してもらう
- この目的のために、コンテンツ作成支援室では、WebCT出前講習会、コンテンツ作成支援、著作権処理代行などの教員支援活動を開始しています。

裏面に具体的なサービス内容を挙げてありますので、ぜひご利用下さい。



WebCTの使い方がわからない方
 コース構築を手伝ってほしい方
 授業一回分をオンラインでやってみたい方
 WebCTにのせる教材の著作権処理をしたい方
 ...

お手伝いします! 支援室一同



室長あいさつ



広島大学では、eラーニングを授業の支援のために利用しようと、全国でも早い段階からWebCTを活用してきました。2005年度には、教材コンテンツ作成経験についての調査を行い、その結果に基づいて「WebCT100」プロジェクトを実施して利用者の発掘に努め、現在では、200科目を超える授業で利用されています。そこでは、授業資料の受講生への公開やインタラクティブなコンテンツの使用等により、学習支援の方策として活用していただいております。

先生方の教材コンテンツの作成を支援するために、「WebCT100」プロジェクト以来、コンテンツ作成支援室を設置し、情報メディア

教育研究センター・技術センターの協力を得て活動していますが、このたび、品質の高いコンテンツの作成・評価・研究と著作権処理の実務についての検討等を目的として、昨年末より「WebCTプレミアム」プロジェクトを開始し、コンテンツ作成支援室をさらに整備・充実しております。WebCTの出前講習会や個々のコースの作成支援等のサービスを行っておりますので、授業の品質を上げるための手段としてeラーニングによる補助・部分的代替等をご検討いただき、ぜひ、声をかけていただきますよう、お願いいたします。

コンテンツ作成支援室室長（eラーニング推進会議議長）
前原 俊信 (chief@els.hiroshima-u.ac.jp)

コンテンツ作成支援室のサービスについて

「WebCT プレミアム」プロジェクトのもとで支援室が現在提供しているサービスは「コンテンツ作成支援」、「利用者講習会」、「教職

員に対するテクニカルサポート」そして「マニュアルなどの作成」があります。ここでは、それらのご利用方法を簡単にご紹介します。

コンテンツ作成支援サービス

サービス内容	既にお持ちの講義資料の電子化支援、授業ビデオの撮影とWebCTへの掲載、著作権処理の代行、小テストやアンケートの設定、また「授業1回分に相当するコンテンツ」の作成支援を受けつけています。
ご利用方法	コンテンツ作成支援室ホームページ (http://www.els.hiroshima-u.ac.jp/) から詳細説明のページをご確認後、申し込み要領の必要事項を記載してe-mailにてお申し込み下さい。

利用者講習会

サービス内容	以下の2種類の講習会を、期間を定めて実施しています。 定期講習会：支援室が定めた日時、場所に集まっていただくで行う講習会です。 出前講習会：受講される先生方の都合のよい日時、場所に支援室スタッフが出向いて実施する講習会です。
ご利用方法	実施期間をコンテンツ作成支援室ホームページ (http://www.els.hiroshima-u.ac.jp/) でお知らせします。

教職員に対するテクニカルサポート

サービス内容	e-mail、電話、もしくは直接先生の研究室に伺ってWebCTの技術的なサポートを行います。
ご利用方法	月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで受けつけています。

マニュアルなどの作成

サービス内容	学生向け利用ガイド、教職員向けチュートリアルなどの作成を行っています。
ご利用方法	学生向けガイドに関しては年度始め、教職員向けチュートリアルの場合はバージョン変更の際に作成しています。印刷したものも配布していますが、コンテンツ作成支援室ホームページ (http://www.els.hiroshima-u.ac.jp/) の「WebCT CE6」からダウンロードすることもできます。

「WebCT CE6 出前講習会 2009 年度後期」予告

昨年度より新たに始めた出前講習会は、これまでに2回実施し、70名の方がご利用下さいました。教職員の皆さまから大変ご好評をいただき、スタッフ一同感謝しております。

この度、2009年度後期のコース開講準備に向けた出前講習会の実施要項が決定致しました。参加者1名でも出前に伺いますので、お気軽にご利用下さい。



実施期間	2009年8月17日(月)～2009年10月30日(金)
講習会について	受講申込者の希望される日時に研究室などに伺い、個別のご要望にお応えする講習会です。
申込方法	8月17日以降、コンテンツ作成支援室ホームページからお申し込み下さい。

